

青年部対策交流集会

関門支部 法本幸大

2026年2月21日～23日愛知県名古屋市豊橋シーパレスにて青年部対策交流集会が行われた。参加は全部で、43名の方が参加されました。

本部からは中央執行委員長鈴木誠一さん・中央書記長松永英樹さん中央執行委員樋口万浩さん千葉隆志さんが参加されていました。主催青年部開会挨拶を横浜支部の村山さんが行い開催されました。その後、全港湾中央執行委員長鈴木誠一さんの挨拶がありました。その後各地方活動報告を行いました。

次に全港湾書記長松永さんからのオルグ『各協定について』を聞いて、分散会で意見交換また質疑を考えました。その後、夕食懇親会があり、分散会で分けられた各班で夕食をとり1日目が終了しました。

2日目、9時から千葉さんの公演『災害時における港湾事業者について』がありました。その後分散会で意見交換また質疑を考えました。つぎに、オルグ・公演を受けての各班で考えた質疑を行いました。その後『反省と教訓を活かして今後どんな行動をしていくか』をテーマに分散会で各班話し合いを行いました。分散会が終わった後レクレーションとしてドッチボールを行い全国の仲間たちと交流することができました。その後、夕食懇親会が行われ夕食をとり2日目が終了しました。

3日目、9時から分散会発表があり、各班2日間にかけて意見交換を行いどのような考えになったのかを発表しました。また分散会で自分の班は協定に対して、協定は当然に守られているものだと思って不満や、疑問に思ったことがなく確認することを行っていなかった、そのため松永さんの中央本部オルグ受け学び協定は自分たちまた会社で働いている仲間たちを守るためにしっかりと知識を深めていかないといけないと危機感を感じました。

災害に対して有事発生時の災害マニュアルを作業所に掲載しているが、全員が認知しているかは定かではないため、浸透させる必要があると思いました。また、地域によっては大きな災害が少なく災害への警戒心が薄れているところがあるため、福島キャラバンや学習会に参加し開催を試みるを発表しました。その後年間スローガン・次回開催地方発表を行い中央本部統括がありました。

最後に次回開催地方代表の日本海地方の常盤さんの力強い団結頑張りうで解散しました。自分は今回初参加で、分散会を初めて行い最初は意見することがあまりできませんでした。でも2日間同じ班で夕食やレクレーションを行い仲が深まり、発言することができました。また夕食のあとも、日頃自分の現場だけで働いていても交わえない人たちと交流ができとても有意義な3日間でした。